

株式会社イートラスト埼玉

ワンストップで解決できる知識と技術を生かして



会社プロフィール

代表取締役 山本 和利

【事業内容】電気工事業、電気通信工事業、とび・土工工事業、管工事業、塗装工事業、消防施設工事業など

【所在地】栄町8—12

今回は、受変電設備や照明設備などの重要なインフラ設備事業を50年以上にわたり営む株式会社イートラスト埼玉を紹介します。

同社は、昭和44年7月に設立した小沢電気工事株式会社を前身とし、平成25年6月に株式会社イートラストと経営統合しました。代表取締役社長の山本和利さんは技術者として昭和58年に小沢電気工事株式会社に入社。当初は家電販売を主とした電気店を営む実家を継ぐ予定でしたが、公共工事など地域に貢献できる仕事にやりがいや達成感を感じ、これまでの知識と技術を生かしながら、現在に至っています。

主な事業は受変電設備や道路照明設備、自家発電設備の設置、改修ですが、道路や河川の監視カメラシステムなどの電気通信事業も行っています。現在は環境に配慮した事業にも力を入れており、「コスト面の課題はありますが、地中熱空調をPRしていきたい」と語る山本さん。地中熱空調は、年間を通じて一定の温度を保つ地中熱と外気温との温度差を利用して効率的な冷暖房を行うもので、環境

に優しい再生可能エネルギーの一つです。「年間を通して省エネ効果も高く、環境保全だけでなく電気代の節約にもつながります」と今の時代に合った技術を紹介してくれました。

近年、高齢化により街の電気店の廃業が増え、電気設備のメンテナンスがでさずに困っている方が増えているそうので、「電気工事は工事して終わりではなく、建物などがある限り安全に使えることが必要です。弊社が直営でできる作業は、私が代表になってから特に力を入れており、地元にある会社としてお困りの方がいればできる限りお手伝いしたいです」と地元貢献への思いも話してくれました。

今後については「事業の効率化を図りながら高付加価値のサービスを提供することで、お客様に喜んでもらい、結果として会社の利益や社員の満足度を高めていきたい」とのこと。長年積み重ねてきた知識、経験、技術、そして地域への思いを持つ同社だからこそ「社会から必要とされる会社」としてこれからも成長し続けていくことでしょう。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課(内線318)までお寄せください。

私の作品

俳句

緑町 松林 真弓

安らかにひと日終へたり西行忌

門井町 宮田 淑尚

万緑や芥呑み込む天の鯉

荒木 藤田 栄之

桜葉降る無住寺の療

富士見町 鈴木スイ子

ばさり落つ牡丹に一日始まりぬ

藤原町 斎藤雄次郎

桜散る中を無言の門送り

城西 榊原しずか

撫で仏の腹てらてらと柿若葉

富士見町 森 節子

戯れに摘みし野蒜のあふれおり

持田 小倉 繁三

春風あご紐ぎゅっと子等の列

富士見町 江利川敏夫

蟹気楼九十年の歩みかな

中央 船津丸和夫

通学路初めての顔すずめの子

南河原 今村 文女

小鎌手に今日も汗して小半日

佐間 西岡 備中

ベーゴマで真剣勝負子どもの日

下忍 荒井 王子

無沙汰詫び藜杖持ち友来たる

持田 中野 華泉

円安や花下に溢るる異邦人

忍 大澤 由子

川風をたつぷり吸って鯉のぼり

小見 三宅 典之

菜種梅雨錆びトラクターひっそりと

矢場 島田 明子

花の雨車椅子にて父一句

門井町 井上タカ子

咲き誇る命無情や春風

(三沢 一水 選)

○俳句応募方法 一人3句以内。毎月末日(必着までに、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、はがき・封書で広報広聴課。なお、一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。

来て! 見て!

図書館

と し ょ かん

● ● ● ● ● ● ● ●

開館時間

午前9時～午後7時

休館日

6月 3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)

7月 1日(月)・2日(火)・8日(月)

※休館日の図書の返却はブックポストをご利用ください。

●市立図書館●

佐間3—24—7(「みらい」内)

TEL:556—4227

FAX:555—3770



ぎょうだ電子図書館 おすすめ本 ぎょうだ電子図書館 (<https://web.d-library.jp/gyoda/>)

- ・るるぶドライブ関東ベストコース '25 JTBパブリッシング/編
- ・みんなおきたかな? あかし まゆこ/作 のん☆/絵
- ・図説果物の大図鑑 電子版 日本果樹種苗協会/監修 他



今月のテーマ展示

<一般>市内小・中学生おすすめPOP

<児童>守ろう! 歯の健康

※特集は告知なく変更となる場合があります。

読み聞かせボランティア養成講座(絵本とおはなし編)

- | | |
|-------|--|
| ▶日時 | 7月20日、8月3日の各土曜日午前10時～正午 |
| ▶場所 | 中央公民館第2学習室 |
| ▶内容 | 絵本の読み聞かせやストーリーテリング(素話)について実践を交えて学ぶ。 |
| ▶講師 | 小野寺るり子さん(おはなしボランティア指導者) |
| ▶対象 | 次の全てに該当する方
・ボランティア活動を希望する方
・2日間の講座に参加可能な方 |
| ▶定員 | 10人程度(先着順) |
| ▶申し込み | 6月25日(火)～7月12日(金)までに市電子申請・届出サービス、直接、電話のいずれかの方法により図書館 |



第70回青少年読書感想文全国コンクール課題図書の貸し出し・予約の一部制限

夏休みは課題図書の利用が多くなります。より多くの方に利用していただくため、次の期間は課題図書の貸し出しおよび予約冊数の制限をします。

なお、小学校の部の課題図書は館内閲覧用として特集コーナーに展示します。

- | | |
|-------|------------------------------------|
| ▶期間 | 7月3日(火)～8月31日(土) |
| ▶対象 | 第70回青少年読書感想文全国コンクール課題図書 |
| ▶貸出期間 | 原則1週間※すでに予約されている課題図書も対象 |
| ▶貸出冊数 | 貸し出し・予約ともに1人2冊まで(貸し出し・予約上限数10冊を含む) |

行田歴史系 363

資料がかたる行田の歴史

63

絵日記にみえる忍城下の野鳥

沼地に囲まれた忍城の周囲では、昔から多くの野鳥が見られました。江戸時代に忍藩主が行った鷹狩りの記録には、マガモやサギなどの水鳥をはじめ、キジ、ウズラなどのさまざまな鳥の名前が記されています。これらの鳥は鷹狩りの獲物であったため、鷹狩りの資料に名前が残っているわけですが、当時はそれ以外の野鳥もたくさん生息していたはずですが、幕末の忍藩主・尾崎石城が記した絵日記『石城日記』を見てみると、文久元年(1861)年11月15日の記事に「午後(18時) 翡翠写生図」という場面があります。「翡翠写生図」は鳥のカワセミのこと、挿絵には僧侶の良啓が小鳥を手で押さえ、石城がそれを写生している様子が描かれています。



『石城日記』(部分)(慶應義塾大学文学部古文書室蔵)

す。絵心のあった石城は草花や生き物をたびたび写生しており、この時も日常の一場面として絵日記に書き残したと思われるが、現代人から見ると、野鳥に素手で触れるという行為にぎょっとしてしまうかもしれません。野生動物に対する当時の感覚をうかがい知ることができる場面ともいえます。また、本文には「良啓子翡翠をとらへ来る」とあり、カワセミを見つけた場所までは書かれていませんが、良啓は忍城下の大蔵寺の僧侶であったため、おそらく忍城下のどこかでカワセミを見つけたのでしょう。水辺で餌を捕るカワセミにとって、沼地に囲まれた忍城の周囲は住みやすい環境だったと想像できます。

ところで、現在の忍城址でも時々カワセミの姿が見られるのをご存じでしょうか。近年も、カワセミが堀の水辺近くを飛んでいたりと、郷土博物館前の池で餌を捕ったりする様子が目撃されています。希少な野鳥ですので、見かけた際は触らずに遠くからそっと見守ってください。

(郷土博物館 岡本夏美)